

平成二十一年度国公立大学合格状況（現役のみ）

大学名	理数系	人文系	国際系	美工系	合計
北海道教育大学旭川校		1			1
上越教育大		1			1
千葉大		1			1
愛知教育大				1	1
大阪教育大		1			1
鳥取大	6				6
島根大		1			1
岡山大	6	2	3	2	13
広島大			1		1
山口大		1	1		2
香川大	1	2	1		4
愛媛大	1				1
高知大			2		2
佐賀大		1			1
和歌山大		1			1
大阪府立大	1				1
兵庫県立大			2		2
島根県立大			2		2
岡山県立大	2	1		3	6
新見公立大	1				1
県立広島大		1			1
広島市立大		1	1	5	7
尾道大		4	1		5
福山市立大	1				1
山口県立大		1			1
下関市立大		2			2
高知県立大		1			1
九州歯科大	1				1
沖縄県立芸術大				1	1
名桜大		1			1
国公立大合計	20	24	14	12	70



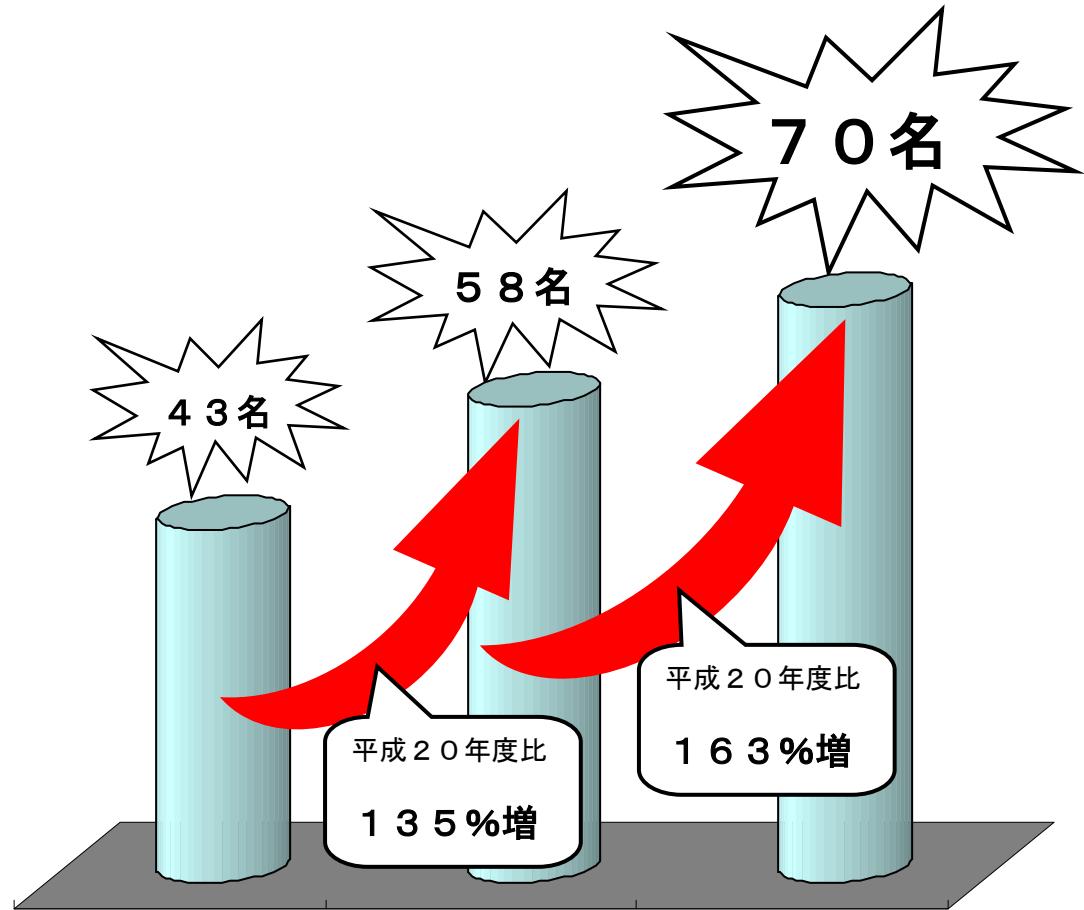
みなみニュース
 第1号（平成23年4月）
 岡山県立総社南高等学校

岡山大 13名
 岡山県立大 6名
 千葉大(法)、九州歯科大
 にも合格

国公立大学 70名合格！

平成22年度の3年生（23期生）は、大学入試で大健闘し、昨年を12名上回る70名の国公立大学合格者を出しました。これは彼らの努力と、「個性を伸ばす」総社南高校の教育課程や進路指導の成果が一つになった結果といえるでしょう。今回の「Minami News 第1号」では、国公立大学合格者の声をたくさん載せました。

中学生のみなさん、これからもステップアップし続ける総社南高校でぜひ一緒に学びましょう。



平成20年度 平成21年度 平成22年度
 過去3年間の国公立大学合格者実績

～合格者の声～



鳥羽 真由美 (岡山大学 文学部 人文学科: 真備中出身)

総社南高校での3年間はにぎやかで楽しいものでした。最初は勉強についていけるか不安でしたが、予習や宿題をきちんとしたら授業はわかりました。3年生になっても勉強だけでなく、南翔祭などの行事にクラスや学校全体で協力し楽しめました。受験勉強はつらかったけれど、センター試験や二次試験用の授業で先生方が丁寧に教えてくださり、親身になって相談にのってくださいって、志望校に合格できました。総社南高校で過ごした時間は良い思い出で、本当に充実した3年間でした。

前原 知佳 (島根大学 法文学部 言語文化学科: 高梁中出身)

私は部活をしていなかった分、日々の勉強については絶対に力を抜きませんでした。予習復習は絶対だつたし、週末課題も全部出していました。3年になってからセンター試験の勉強などをして感じたことは、やっぱり日々の積み重ねの大きさでした。毎日授業をキチンと聞き、毎日予習復習をし、当たり前のことのように感じるかもしれないけど、その当たり前のこと続けるのが一番難しく、大事なことだと思いました。センターの勉強をし、2次試験の勉強をし、勉強量は半端じゃないし精神的にも辛いです。でも、支えてくれる先生たちや家族や友達がいて今の自分があると思います。きっと周りの人がいなかつたら挫折して途中放棄だってしていたかもしれません。周りの支えがあってこそ合格だし、これからも周りの人のためにも頑張ろうと思っています。

田邊 啓輔 (山口大学 経済学部: 総社中出身)

僕がこの高校生活で頑張ったことは、生活リズムを崩さないことです。いくら夜遅くまで勉強しても、寝なければそれらは身につかないし、それどころか次の日の授業にまで悪影響を及ぼします。生活リズムを確立することが成功の近道だと思います。この3年間、本当にあつという間でした。皆さん後悔しないように頑張って下さい！応援しています！

米山 ふみの (山口県立大学 国際文化学部 文化創造学科: 高梁中出身)

私は毎日毎日センター試験の勉強ばかりしました。朝は7時30分に学校へ行き1時間目が始まるまで問題を解いていました。授業は集中して聞くようにし、わからないところは放課後に職員室で教えてもらいました。たぶん私が一番職員室を活用したと思います(笑)。私は塾に通っていなかったので放課後は自習室にこもってその日の復習、課題、次の日の予習をしていました。夏は19時前まで残って勉強していました。帰りの電車では英語のリスニングをひたすら聞きました。帰ってからはテレビはほとんど見ずにひたすら勉強でした。やる気がなくなったときは志望大学のパンフレットを見たりしました。つらいこともあったけど、先生を信じて頑張ったから結果が出たと思います。皆さんも頑張ってください！



藤井 未侑 (岡山大学 理学部 化学科: 総社東中出身)

総社南高校は、他の高校に比べて生徒と先生の仲が良く、親身になって勉強を教えてくれます。テストが終わったら先生と生徒たちの仲の良い会話が聞こえます。国公立大学に合格したいと考えている人、2次試験まで考えている人は、不安もあるかもしれません、先生方は最後の1人になっても生徒を支えてくれます。最後まで諦めない心があれば必ず目標を達成できます！

萩原 拓郎 (山口大学 経済学部: 総社中出身)

僕は高校3年間、授業の予習と課題は必ずこなしました。本気で勉強したはずでしたが、センター試験では思うような結果を出すことが出来ず、絶望感に浸りました。しかし、学年主任の「七転八起」という言葉を信じ、最後まで諦めずに勉強し、2次試験で逆転合格をすることができました。受験勉強は精神的にも体力的にもしんどかったのですが、一生懸命勉強してよかったです。大切なことは、日々の努力と諦めない根性だと感じました。



近藤 一貴 (岡山大学 教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース: 高松中出身)

難しいことは何一つありません。皆さんに一番大事にしてほしいのはやはり学校での授業です。1年生の時は特に「受験勉強！」ってならなくともいいので、とにかく1時間1時間先生方がおっしゃることすべてを覚える！ってぐらいのいきおいで授業に集中していれば、3年生になったときにセンターや2次に向けての勉強のベースができるはずです。そうすると後々本当に楽になるので、まず何をすればいいのかわからなかつたら学校の授業を完璧に理解することです。理解できないことがあつたら先生に尋ねるなどして自分なりに解決することが大事です。



大木 雅倫 (岡山県立大学 デザイン学部 デザイン工学科: 竹莊中出身)

僕は、1年生の類型選択の申し込み時には人文系を選択していたのですが、よくよく考えて美工系に移ることに決めました。しかし、決断した時期が遅かったため、2年は人文系で学習しながら、放課後に美術の勉強や実技を行い、3年生から美工系に移りました。自分の確かな未来を決めるのが遅いと、後々すごく大変になるということを思い知りました。しっかりと自分がやりたいことと、自分ができることを考えておくことが大切でした。僕はスタートを少し失敗してしまったのですが、それでも第一志望に受かることが出来たのは、先生方の精一杯のサポートがあったからです。先生方に本当に感謝です。